

整備事業メニューの実施時期及び整備事業メニュー検討の方向性

1 整備事業メニューの目標とする実施時期

整備の目標とする時期として、短期(5年以内)・中期(5～10年)・長期(10年以上)の三段階に分けて、事業整備メニューを検討する。設定にあたっては、具現性を考慮し設定する。

時期	目標年	選定の基準(考え方)
短期	概ね5年以内	早急に対応が必要であると考えられる整備 短期間にて、実施が可能であると考えられる整備
中期	概ね10年以内	整備が大規模であるなど、実施に要する時間が中長期的である整備 費用等を踏まえ中長期的な計画が必要な整備
長期	概ね10年以上	整備の規模や内容が、長期的な財政状況や人口動向を踏まえる必要がある整備

2 . バリアフリー基本構想における基準

以下に、設定するバリアフリーの基準を整理する。

箇所	項目	種類	道路移動等円滑化基準等
道路 ・通路 ・改札	平坦性	段差(高さ)	5cm、セミフラット型
		勾配	縦断：5%以下、横断：1%以下
		舗装の状態	平坦・水はけが良い・滑りにくい
	誘導性	点字ブロック	原則：黄色、30cm四方以上
	狭隘性	幅員	有効幅員 2.0m
	安全性	歩車分離	原則車道と分離 歩車分離しない道路の場合、走行車両の速度を落とすための措置、歩行者通行空間(有効幅員 1.5m)の確保
		照明	原則設置(周辺状況による)
駐車場	車椅子対応駐車場		駐車台数 200 以下： 必要数は駐車台数/50 台 駐車台数 200 以上： 必要数は駐車台数/100 台+2 台 施設付近、駐車桟有効幅 3.5m
		照明	原則設置(周辺状況による)
	点字ブロック		視覚障がい者のエレベーターや案内表示板への誘導。 段差、イスルター等の障害物回避誘導
トイレ	大便器	多目的トイレ	水洗装置、水洗スイッチ、洗面器、小型手洗い器等。広さ 200cm×200cm
		洋式トイレ	1 以上設置
		個室出入口幅	80cm 以上(推奨 90cm 以上)

箇所	項目	種類	道路移動等円滑化基準等
トイレ	小便器	手摺り	1以上設置
	洗面台	高さ	標準：80cm以下 推奨(併設):55cm程度(幼児・小人用)
		手摺り	1以上設置(もしくは強固なもの)
	案内表示	点字案内板、点字ブロック	男子用及び女子用の区別並びに便所の構造を視覚障がい者に示すための点字による案内設備を設置
昇降施設	階段	幅員	1.5m以上
		手摺り	二段式、両側設置。点字
		点字ブロック	推奨：終始部に点字ブロック
		段鼻	視覚的な識別
	エレベーター	広さ	1.5m×1.5m以上
		出入口幅	90cm以上
		ボタン	操作盤高1m程度
		鏡	安全・防犯設備(鏡、外部から内部の確認、手摺り、戸閉の制御、緊急時対応)
	エスカレーター	形式・位置	上り専用と下り専用を設置
	スロープ	幅員	有効幅員2.0m以上
勾配		5%以下	
他施設	出入口	幅員	主要出入口：120cm以上 原則80cm(推奨90cm)
		戸の形式	安全・快適性(開閉動作): 手動式<自動式、開き戸<引き戸
	券売機	車椅子による利用	60cm以上の高さ空間
		ボタンの位置	高さ110cm程度
		点字表示	主要なボタンには点字を併記
	バス停	歩道の高さ	標準15cm
		ベンチ・上屋	原則設置(周辺状況による)
		点字ブロック・照明	必要に応じて設置
	案内	音声案内、案内表示、点字案内等	受付カウンターやインターホン等の案内設備を設ける。点字ブロック等や音声による誘導に配慮する。

参考：「増強改訂版 道路の移動等円滑化整備ガイドライン」
「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」

3 生活関連施設及び生活関連経路における問題と課題、対策案(例)

各生活関連施設及び生活関連経路における問題点、課題、対策案を以下に示す。

(1) 旅客施設

短時間ではあるが滞在型のアメニティ(トイレ、休憩所など)が求められる施設である。また乗降客数が少ない駅においても、上下移動は可能な限り施設整備(ハード整備)で対応することが望ましい。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部 (駅広から改札)	歩車混在	歩車分離	防護柵設置
	階段や段差がある	平坦化	スロープ設置
券売機	券売機の位置が高い		券売機の改善
改札	車椅子扉の開閉		扉の撤去
	通路が狭い	広幅員化	扉の撤去、改札の改良
駅構内の移動	階段のみ	上下移動補助	昇降機、スロープ設置
	階段における誘導や補助が不十分	情報伝達、移動補助	階段手摺りの設置、点字や段鼻の改良
駅構内のトイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置
案内及び警告	音声や表示による案内が無い	情報伝達	音声や電光掲示による案内板の設置
	線路側を示す点字ブロック無し	情報伝達	点字ブロックの改修

(2) 公共施設

公共施設は不特定多数の高齢者や障がい者等の利用も考えられるため、滞在型のアメニティ(トイレ、休憩所など)が求められる施設である。上下移動については可能な限り施設整備(ハード整備)で対応することが望ましい。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	点字ブロックが無い	情報伝達	点字ブロック設置
	自動扉でない	開閉の容易性	自動扉設置
施設内	案内看板が無い	情報伝達	案内看板設置
	点字ブロックが無い	情報伝達	点字ブロック設置
	階段のみ	上下移動補助	昇降機、スロープの設置
トイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置
駐車場	車椅子用が無い		車椅子用駐車桟設置

(3) 都市公園

公園は健康増進や健康管理、あるいは趣味やストレス解消として不特定多数の住民が利用する施設であるため、沿道から園路・園内までのアクセス確保が重要である。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	通路が狭い	広幅員化	通路の拡幅
トイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置

(4) 学校

有事の際には防災避難所（二次避難所：長期滞在）に指定されており、滞在型のアメニティ（トイレなど）や施設内の上下移動については可能であれば施設整備（ハード整備）で対応することが望まれる。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	通路が狭い	広幅員化	通路の拡幅
トイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置

(5) 商業施設

大規模な総合ショッピングセンターなどは、滞在型のアメニティ(トイレや休憩所など)や施設内の上下移動について、施設整備(ハード整備)で対応することが望ましい。また、中規模の施設(スーパーやドラッグストアなど)は滞在時間も短いため、アメニティ(トイレなど)は必要に応じ施設整備(ハード整備)で対応することが望まれる。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	点字ブロック上に商品棚等	社員意識	社員教育、日常点検
	階段のみ	上下移動補助	スロープ設置
	自動扉でない	開閉の容易性	自動扉設置
	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	通路が狭い	広幅員化	通路の拡幅
駐車場	段差がある	平坦化	段差解消
トイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置
施設内	点字ブロックが無い	情報伝達	点字ブロック設置
	音声案内が無い	情報伝達	音声案内設置

(6) 金融機関

金融機関は不特定多数の住民が利用する施設であるため、沿道から店舗までのアクセス確保が重要である。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	点字ブロック上に商品棚等	社員意識	社員教育、日常点検
	階段のみ	上下移動補助	スロープ設置
	自動扉でない	開閉の容易性	自動扉設置
	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	通路が狭い	広幅員化	通路の拡幅
駐車場	段差がある	平坦化	段差解消

(7) 医療福祉施設等

医療福祉等の施設は、その用途から滞在型のアメニティ（トイレや休憩所など）や施設内の上下移動について施設整備（ハード整備）で対応することが望ましい。

箇所	問題点	課題	対策案
アプローチ部	点字ブロック上に商品棚等	社員意識	社員教育、日常点検
	階段のみ	上下移動補助	スロープ設置
	自動扉でない	開閉の容易性	自動扉設置
	段差がある	平坦化	段差解消
	スロープ勾配が急である	平坦化	スロープの改良
	通路が狭い	広幅員化	通路の拡幅
駐車場	段差がある	平坦化	段差解消
トイレ	多目的トイレ、洋式トイレが無い	多機能・多様化	洋式トイレ設置、多目的トイレ設置
施設内	点字ブロックが無い	情報伝達	点字ブロック設置
	音声案内が無い	情報伝達	音声案内設置

(8) 道路

道路は、移動空間としてのネットワークに欠かせない施設であり、連続性や多様な利用目的に対応した整備が望まれる。

箇所	問題点	課題	対策案
単路部	勾配が急である	平坦化	勾配の改良
	幅員が狭い	広幅員化	拡幅
	段差がある	平坦化	段差解消
	障害物がある		障害物撤去
	側溝に蓋がない	快適化	側溝整備
	横断歩道が無い	安全性向上	横断歩道設置
交差点部	歩行者信号が短い	安全性向上	信号サイクルの見直し
	点字ブロックが無い	情報伝達	点字ブロック設置